

for your dream—

# 進路通信

平成29年度第12号

平成30年3月22日

都立武蔵野北高等学校  
進路部

## 合格速報

国公立大 前期・現役のみ

東北1 一橋1 東京工業1 お茶ノ水女子1 筑波3 東京外国語2 東京学芸8  
首都大学東京22 東京海洋1 千葉1 埼玉6 山梨1 京都1 山形県立保健医療1  
横浜市立1 計56名(過去最高!) 首都大22は全国1位!



私立大 現役のみ(数字はのべ) 5名以上の大学のみ

青山学院14 亜細亜6 杏林13 駒澤17 工学院7 実践女子6 芝浦工業14  
昭和女子6 上智5 成城5 成蹊23 専修13 中央42 帝京7 東海6 東京経済6  
東京工科大学17 東京女子20 東京都市6 東京農業13 東京理科大学10 東洋40  
日本36 日本獣医生命科学10 文教5 法政46 武蔵15 武蔵野23 明治44  
明治学院9 明星16 立教40 立正6 早稲田19

## MARCHなら何とかなるとい時代は終わった!

これから書くことは超重要なので、心して読んでほしい。

上の合格速報を見てもわかる通り、国公立大は過去最高の合格者数となった。最後まで五教科七科目を頑張った人が例年になく多かったからだろう。後期はまだ判明していないが、後期を含めると、おそらく60名を超えるとされる。これは本当にすごいことだ。3年生の頑張りを讃えたいと思う。

ところが、私大に関しては苦戦をよぎなくされた。早慶上理とGMARCHを昨年と比べてみよう。

早慶上理/昨年(62)、今年(34) GMARCH/昨年(300)、今年(190)

早慶上理は半減、GMARCHは2/3になってしまった。しかし、これは3年生の学習が足りなかったわけではない。他校も私大に関しては苦戦しており、本校はまだ良かった方だ。(ただし早稲田は苦戦)

なぜそうなったのか。まずは以下の記事を読んでほしい。(いくつかの記事をまとめたもの)

文科省は2016年度から、入学定員超過による私立大学等経常費補助金の不交付の基準を厳しくし、2017年度以降の学部等の新設を認可しない基準となる入学定員超過率も厳しくする。地方創生の観点から、都市部の大規模大学への学生の集中を抑制する施策の一環である。

2017年から、収容定員が8000人以上の大都市部の大学の定員管理が厳しくなり、2017年、入学者が定員の1・2倍以上だと補助金不交付の対象となっていたが、この超過率が段階的に引き下げられ、2018年までに1・1倍になる。**2019年以降は、1・0倍を超える**と人数に応じて補助金が減額される。そのため、さらに合格者数を絞る動きが広がると見られている。(←2年生がこれに該当する!)



つまり、こういうことだ。「都市部の学生集中を抑制するために、文科省が私大の合格者数を減らすように指示。→従わない場合は補助金カット→私大は合格者数を減らし、本校および他校の合格者が激減→さらに補助金不交付対象が厳しくなり、来年度は1・0倍となる→現2年生の私大入試は大幅難化が予測される」

この状況を、予備校関係者は**MARCHの早慶化が始まった**と言っている。これまで本校では、学校の授業についていければ(真ん中くらいにいれば) MARCHは何とかなるといわれていたが、もはやそれは通用しなくなった。早慶に入るくらいの力をつけないと、MARCH合格は難しくなるかもしれない。

これに関する情報は来年度になってから順次伝えるが、とにかく安易な気持ちではMARCHに受からなくなったということだ。**心せよ、2年生!**

## 進路NEWS

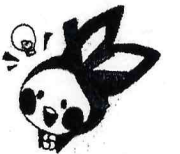
### <2年生>

- 3/20(火) 3~4限、2年対象「合格者速報会」難関大に合格した先輩たちの話を聞いて、意欲を高めよう。この話を聴くと、来年自分も合格して、後輩に語りたと思うはずだ。また、22日に進路室ガイダンスも行う。
- また、2年生は第一志望校を決める時期がやってきた。第一志望校が決まったら、**進路室から赤本を借りてどんな問題が出ているのか確認しておこう。**志望校の出題傾向を知ることが、受験の第一歩だ。3年生が卒業したら、積極的に進路室を利用してほしい。

**受験のいろは** 1年生も読んでほしい。

### Q分離分割方式って何?

**A**国公立大の個別学力検査を前期日程と後期日程に分けて行うこと。一部の公立大では中期日程もあるので、国公立大の一般入試は3回まで受けられる。多くの大学では後期日程の募集人数は少なく、試験内容も前期とは異なっている。



定員配分では前期で7割以上。後期は2次募集的な意味合いが強く、第一志望は前期で受けるのが一般的。試験問題は前期が2~3教科の試験、後期は総合問題、小論文、面接等が多い。出願は前期・後期同時なので、前期の結果を見てから後期を出すことはできない。

### Q A0入試って何?

**A**出願者の人物像を学校の求める学生像(アドミッション・ポリシー)と照らし合わせて合否を決める入試。論文・志望理由書・面接などによって多面的な評価を行う。11月の推薦入試よりも前に募集できるので、大学によっては夏休み前に合格を出す場合もあるが、そういう大学は「人気がない」ということだから要注意。

### Q 全学部統一入試って何?

**A**大学ごとに一つの試験で全学部の試験を行う方法。おおむね一般入試よりも早い時期に行われるので、受験生にはチャンスが「全学部」と「個別入試」の2回となり、様々な大学・学部を併願しやすくなる。また、大学側にとっては、受験生を多く確保できるので、受験料を徴収できるというメリットもある。一般に全学部の方が難しいといわれるが、大学にもよるので、それぞれ調べた方がいい。

### Q 傾斜配点って何?

**A**受験科目の配点の全部もしくは一部に一定の割合をかけ、その大学・学部独自の点数配分を設定すること。センター試験ではこれがわかってないと、どうにもならない。

### Q なぜセンター試験を受けるの?

**A**大まかに言って以下の理由から。

- ・国公立大を受験するには必須。8割以上の私立大学にセンター入試枠がある。
- ・入試はまずセンター受験からというのが一般的。
- ・受験機会が増えれば、志望校への合格可能性が高まる。安全校も確保しやすい。
- ・一般入試の前にあるので。受験慣れができる。(これは大きい!)
- ・一般入試よりもセンター利用入試の方が難しいといわれるが、最近ではセンター利用入試に受かって一般入試で落ちるという人も増えている。可能性があるのならチャレンジした方がいい。
- ・私大センター入試の出願は短冊のような成績請求票を張り付けるだけでいい。一度センター試験を受けていれば何校でも出願できるし、個別試験を受ける必要もない。(ただし早稲田等、一部大学では個別試験を課す場合もある)

### Q センター試験で何点取ればいいの?

**A**国公立全体の受験者を見ると、合格者の平均は75%の得点率。得点率60%程度から合格者が始め、75%から急増する。農工大や学芸大を考えている人は75%は取るようにしよう。

私大の場合は学部にもよるが、早稲田で90%以上、MARCHクラスで80~85%はほしい。ただし、2~

4教科なので、早稲田はともかくMARCHクラスなら努力次第で何とかなるはずだ。

## 閑話休題 偏差値39から東大に合格した生徒を動かした「教師の格言」

学生時代の出会いが人生を変えた人も多いはず。

ある公立高校で入学時の偏差値が39の生徒がいた。その生徒はなんと現役で東大に合格した。元々は問題児で、教師にも反発をくり返すような生徒だったとか。しかし、そこから現役で東大合格。その裏には、学校の教師が言った格言の存在があった。

### 「こんなこともできないあなたは、将来何の役に立つのですか？」

教師に叱られた時、腹立ちまぎれに「こんなことが将来何の役に立つんだ」と言った時に返された言葉。この言葉に納得して、将来のことを考えるようになる。

### 「将来のことを考えるのも大事だが、今なすべきことを全力で頑張る方が100倍大事」

受験に関して不安を感じている時に言われた言葉だとか。

### 「受験勉強の9割は社会に出てから役に立たないが、その役に立たないことですら覚えられなくて、社会で役に立てるの？」

受験というのは学習内容の知識自体が重要なのではなく、学習のプロセスをしっかりこなす能力を身につけることが大切だということ。

### 「1年のために一生を棒にふるか、一生のために1年を棒にふるか、どちらか選べ」

受験シーズンをどうすごすかで、一生が大きく左右される。今遊びたければ、一生を棒にふる覚悟で遊べ。一生を豊かに生きたければ、今を棒に振る覚悟で学べとのこと。この言葉で、本気で1年間を頑張ろうと思ったという。

### 「やって失敗してもそれほど後悔しないが、やらないで失敗すれば絶望するほど後悔する」

社会に出てから必ずしも成功するとは限らない。うまくいかなかった時、やることやって失敗したのであれば、後悔はさほどなく立ち上がれる。しかし、やることをやってないと、自信を持ってないので、ものすごく後悔すること。

最後までやりきって、仮にうまくいなくても、後悔しないように頑張ろうと思ったとのこと。

こうした言葉に感化されて東大に合格したそうだ。

受験だけではなく、すべてに通じる含蓄のある言葉だと思う。

